

木造毘沙門天立像

もくぞうびしゃもんでんりゅうぞう

市指定

所在地：桑原



右手に戟を持ち、左手には塔を捧げている。彫眼に胡粉こふんの彩色を施すなど後補が著しく、当初の像容をかなり損じているが、量感豊かな一木造であることから、平安時代後期にさかのぼる可能性がある。台座や持物は、後補の際のものである。

毘沙門天は、四天王の中から多聞天を取りだし、毘沙門天として崇敬されるもので、福德高貴の神とされやがては七福神の一つになっていく。

毘沙門堂所在。

像高131cm。